

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月28日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0196700066 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 緑ヶ丘学園 | | |
| 事業所名 | 認知症対応型グループホーム 稚内緑寿苑 | | |
| 所在地 | 北海道稚内市声問5丁目27番20号 (電話) 0162-26-8822 | | |
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 | | |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年11月25日 | 評価確定日 | 平成20年12月9日 |

【情報提供票より】(平成20年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|---------------------|------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)20年 4月 1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 5人, 非常勤 3人, 常勤換算 | 6.4人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------------|---------|--|
| 建物構造 | 木造亜鉛とたんぶき 造り | | |
| | 一部 2 階建ての | ~ 1 階部分 | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|-----------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 40,000 円 | その他の経費(月額) | 21,000~27,000 円 | |
| 敷金 | 有(円) 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 320 円 | 昼食 | 340 円 |
| | 夕食 | 340 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | | |

(4) 利用者の概要(11月10日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 9 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 3 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 0 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 1 名 | | |
| 年齢 | 平均 83.7 歳 | 最低 | 73 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------|
| 協力医療機関名 | たかはし胃腸科・内科 |
|---------|------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

知的障害者施設や特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所などを運営する母体社会福祉法人を中核とした、総合複合施設の中の1ユニットの開設1年目のグループホームです。近隣住民や地域の人達、家族や職員とその家族などが参加して開催される母体法人の行事では地域との交流も積極的に行われています。また、敷地は広く畑も作られてトマトやさやえんどうなどの野菜の手入れや収穫が利用者の楽しみごととなっています。法人では、職員の研修参加を積極的に奨励して内部研修やグループホーム連絡協議会などの外部研修参加や他施設との交流、見学など実践されています。今後、ますます期待されるグループホームのひとつです。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 開設1年目のグループホームで今回が初めての外部評価となります。 |
| | 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 法人及び管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、自己評価については、定められた項目について開設前より職員と研修を実施しています。また、今回初めてとなる外部評価については今後、職員の研修に活かす計画がされています。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に実施されています。主な議題は ホーム活動内容について報告 紙粘土サークル(ボランティア受入れ)実施について 職員の研修参加状況について ご家族来訪実績(来訪・外泊)について 法人全体の取組みについて |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が来訪しやすいように日常的に取り組み、来訪時には意見や不安な点など言い表せる機会を設けています。また、職員はコミュニケーションマナー講座を受講し、日常業務を通じて家族とのコミュニケーションに活かしています。運営推進会議では、具体的な内容について意見交換され運営に反映する取組みも行われています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人は、地域に密着した活動が永く地元の人々の認知度も高い。また、お茶会や和太鼓、紙粘土などのボランティアの受け入れや町内会のお祭りや子供みこし参加などで地域との交流に取り組んでいます。近隣住民との交流では、野菜や花などの持参を戴いたり、運営推進会議参加などで日常生活を通じた交流・連携が行われています。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域に根ざした母体法人の基本理念のもと、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして事業所独自の理念の実践に向けての目標を掲げ職員間で共有されている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念の達成のために、ホームの目標を掲げその実践に向けて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | お茶会や和太鼓、紙粘土などのボランティアの受け入れや町内会のお祭りや子供みこし参加などで地域との交流に取り組んでいる。また、近隣住民との交流では、野菜や花などの持参を戴いたり、運営推進会議参加などで日常生活を通じた交流・連携が行われている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 法人及び管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、自己評価については、定められた項目について開設前より職員と研修を実施している。また、今回初めてとなる外部評価については今後、職員の研修に活かす計画がされている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議は、2ヶ月毎に開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、稚内市職員、民生委員、小学校校長、地域住民、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p> | | |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>稚内市主催の地域ケア会議参加や包括支援センターとの連携で共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>家族の来訪時にホーム行事参加や日常の暮らしぶりなど情報提供されて意見交換されている。また、金銭管理については、金銭出納帳を明示し、確認印を戴いている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族が来訪しやすいように日常的に取り組む、来訪時には意見や不安な点など言い表せる機会を設けています。また、運営推進会議では、具体的な内容について意見交換され運営に反映する取り組みも行われています。</p> | | <p>今後は、家族会の具体的な活動について計画されているので、その具現化に期待します。</p> |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>開設以来、異動や離職はない。今後、そのような事態を想定して配慮していく検討が行われている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 法人全体で積極的に内部・外部研修参加が実施されている。また、職員のスキルアップのための資格取得を奨励して支援されている。 | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | グループホーム協議会に加盟して、他施設との意見交換や訪問、見学など積極的に行われている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 職員と一緒に畑作業や掃除、食事の準備や配膳、後片付けなどしながら支えあう関係を築いている。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----------|---|---|-------------------------|--|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて、畑作業や短歌などの趣味への支援や食事の準備や配膳、散歩や外食など本人本位に検討し支援している。</p> | | <p>家族や来訪者に職員の名前と顔が一致するようなネームプレートの着用や写真の掲示など取り組まれることを期待します。</p> |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。また、開設当初からセンター方式が導入されている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となってモニタリングを随時実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院への支援や外出、外泊など柔軟に支援している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族が納得したかかりつけ医に診てもらえるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方について、法人の指針が明確化され本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、職員はコミュニケーション講座を受講して研修している。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースを大切に、入浴への支援やホーム行事参加など希望に沿った支援をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事が楽しみなものになるよう、料理や配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。また、職員も一緒に和やかに食事をしている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に支援している。また、入浴拒否の強い方にも対応されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者一人ひとりの生活歴が把握され、畑作業や掃除、調理の準備や配膳、後片付けなど「本人ができること」への生活の支援がされている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ふれあい公園への散歩、水族館、いちご狩りやホテルでの外食など戸外に出かけられるよう支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は、センサーの設置で外出が察知できるように取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、安全面で配慮されている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>消防署の協力を得て火災避難訓練や消火器の使用方法など定期的に訓練が実施されている。また、設備の点検や緊急連絡網が整備されている。</p> | | <p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう運営推進会議等で働きかけを行うことを期待します。</p> |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>管理栄養士によるメニューが作成され、個別の嚥下状態などによる支援も実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量も記録されている。</p> | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。また、広いリビングでは、利用者が集い職員と談笑したり、テレビを見たり思い思いに過ごしている。玄関や共用の空間には、花や観葉植物が配置され家庭的雰囲気醸し出している。</p> | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>8畳ほどの居室には、家族の写真や観葉植物が飾られたり、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p> | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。